
怖い夢見た

織田慶次

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怖い夢見た

【Nコード】

N79570

【作者名】

織田慶次

【あらすじ】

怖い夢を見た、から友達の家に行った。そこで起こった出来事は・
・。

「って、言う。怖い夢を見た」

俺は目の前に座っている友達にそう、話かけた。反応はなかった。外は車と少しだけの家の明かり以外は真っ暗だった。そんな日に悪夢を見てしまった。

これ以上は眠れないと思い、友達に電話をして今に至っている。

「まあ、そういうことで今夜は二人で呑んで楽しもうぜ」

「・・・・・・」

友達は何の反応もなかった。

「おい、何か言えよ」

つと言いながら俺は友達の肩に手を置いた。

その瞬間！

友達の首が下にドサツと音を出して落ちてしまっていた。

「う、うわあああああ！」

俺は驚いてすぐに友達の家を勢いよく飛び出した。飛び出した勢いのまますぐ近くの空き地へと行ってしまった。そこにはさっきとは違う友達がいた。その友達はこちらを見つけると近づいて

「おい、何してんだ？」

「あ、ああっお前を殺しにきたんだよ」

とっ言いながら斧を振り下ろしてきた。それをきりぎりかわすことができた。

「お、お前、何してるか分かっているのか」

自分の声が震えているのかよく分かった。

「うるせえー」

また、斧を振りおろしてきた。今度は避けられず、斬られた。そこで目が覚めた。

「って、言う。怖い夢を見た」

友達は何の反応もなかった。

（後書き）

無限ループになる感じにしたかったです。きちんとそう読めたでしょううか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7957o/>

怖い夢見た

2010年11月8日22時06分発行